

高率を示し、へ10、あしぬき回りでは両者ほとんど拮抗している。つまりこれらの種目では四才B群ののびは著しくA群ののびを上まわっているので追いつくと考えられる。ところがこのように四才B群が高率を示した種目でも、五才になると再びA群に追いついてしまふ。この場合五才A群ののびが旺盛になりB群は停滞していることがみられる。以上要約すると

1、二才と五才にわたって全般的にA群の成功率はB群にまさる。

2、四才と五才にいたる発達過程においてB群はA群に追いつき、五才ではA群との差は僅少となり、全般的に両者の力は均衡化してくる傾向がある。

3、四才で若干種目においてB群がすぐれた結果を示すが、これは五才になると再びA群に追いつかれる。

4、このことからA—B両群ののびには時期的な差があり、A群がさきののび、次にB群さらにA群というふう交互にのびる時期を現わしながら次第に両者が均衡化するよう思われる。

(五才までの結果ではB群が完全にA群に追いついたとはいわれないが、さらに六才に進めばその差はほとんどなくなるのではないかと推測される。)

5、女児B群は男児B群よりも早くおいつき、均衡化する傾向がある。このことは一般に男児に比し女児の成績がまさっている

ことと関係があると思われる。たとえば五才男Bで八〇%以上に達しているのは、一種目しかない(3、あしかけけんすい)へA群は六種目への五才女Bでは四種目にわたっている(A群は五種目)ことによっても、いかに女児の進歩追いつきが多く種目に及んでいるかも知れよう。
(宇都宮大学)

松木ゆきの

幼稚園の朝

園さの庭あちこちめぐりおきな児と

お早ようかわすま幸思まうなり

園庭のさぎん花と幼児の登園

さぎん花は寒風よそに咲きほこる

児らの登園よろこぶがごと

ストーブをかこみて

ストーブをかこみて見ている紙芝居

よろこびにみつ児らのまなざし

(香川県観音寺市立観音寺幼稚園)